

【事務事業調査】

事務事業名	廃食用油BDF事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-04-02-01-003-01-04
担当部署	住民生活部 環境課	担 当 リーダー	環境担当 竹澤 伸一	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	学校給食センターや一般家庭で排出される廃食用油をバイオディーゼルの燃料(BDF)にリサイクルして、公用車(給食配送車)の燃料にします。	一般家庭では、通常可燃ごみとして排出される廃食用油をBDFにリサイクルすることにより、可燃ごみの減量化に寄与することはもとより、町民のリサイクル意識高揚及び化石資源の使用削減等の効果が期待できる。
実績	学校給食センター、一般家庭や事業所から排出される廃食用油を回収し、4,657リットルの原料からバイオディーゼルの燃料(BDF)3,961リットルを製造して、公用車(給食配送車2台)とデマンドバス1台の燃料に利用しました。 一般家庭からの回収は、町の環境学習の拠点施設であるエコハウスたかねざわに持ち込んでもらい、また各小中学校においても各家庭からの廃食用油を持ち寄り回収に協力してもらいました。さらに今年度10月から町内の事業所の廃食用油も回収する仕組みをつくり回収をおこないました。	廃食用油を廃棄処分しないで、バイオディーゼルの燃料に再利用することで、可燃ごみを減らすことと、化石燃料の使用を抑えることにつながっています。町民、児童生徒や事業所が参加して取り組むことで、リサイクルの向上、環境学習や環境への意識向上につながっています。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
廃食用油処理量	2,5000	4,6570	一般家庭からの廃食用油の回収が20年度が7660だったが、21年度は9780回収されました。さらに事業所の廃食用油は9140回収されました。

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 消耗品費	193,000
2 委託料	420,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	613,000



■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 消耗品費	194,000
2 委託料	420,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	614,000



■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 消耗品費	323,879	
2 委託料	259,350	BDF製造装置メンテナンス
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	583,229	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		614,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		614,000	
決 算	決算額		583,229	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源	160,000	295,840	BDF使用料
	計	160,000	295,840	
	差引(一般財源)	453,000	287,389	